

# 令和5年度 事業報告書

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

(令和6年5月28日)

学校法人 静岡自動車学園

# 令和5年度事業報告

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

## 1. 法人の概要（令和6年3月31日現在）

学校法人静岡自動車学園は、県内自動車業界の先駆者によって昭和15年に静岡県自動車学校を開校、また昭和31年には自動車整備士育成のための各種学校を設立し、現在の専門学校静岡工科自動車大学校と専門学校浜松工科自動車大学校に受け継がれて、これまでに時代の変遷を経て安全運転者の養成と「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」という建学理念の実践の場として即戦力となりえる中堅技術者の育成を行ってまいりました。

創立84年目を迎える学園の歴史にあって法人分割等幾多の経営課題を乗り越えて今日に至っておりますが、時代の背景としてはモータリゼーションの進展に支えられ全国的にも特色のある教育機関として、地域社会に寄与してきました。

現在において本学園は、少子化、顧客ニーズの多様化等これまでに経験したことがない経営環境の中で、職員全員が次代に向けて掲げる中期経営計画（3ヵ年計画）を具体化し、価値観を共有して、新たな学園の存立基盤を形作っていく時代を迎えています。

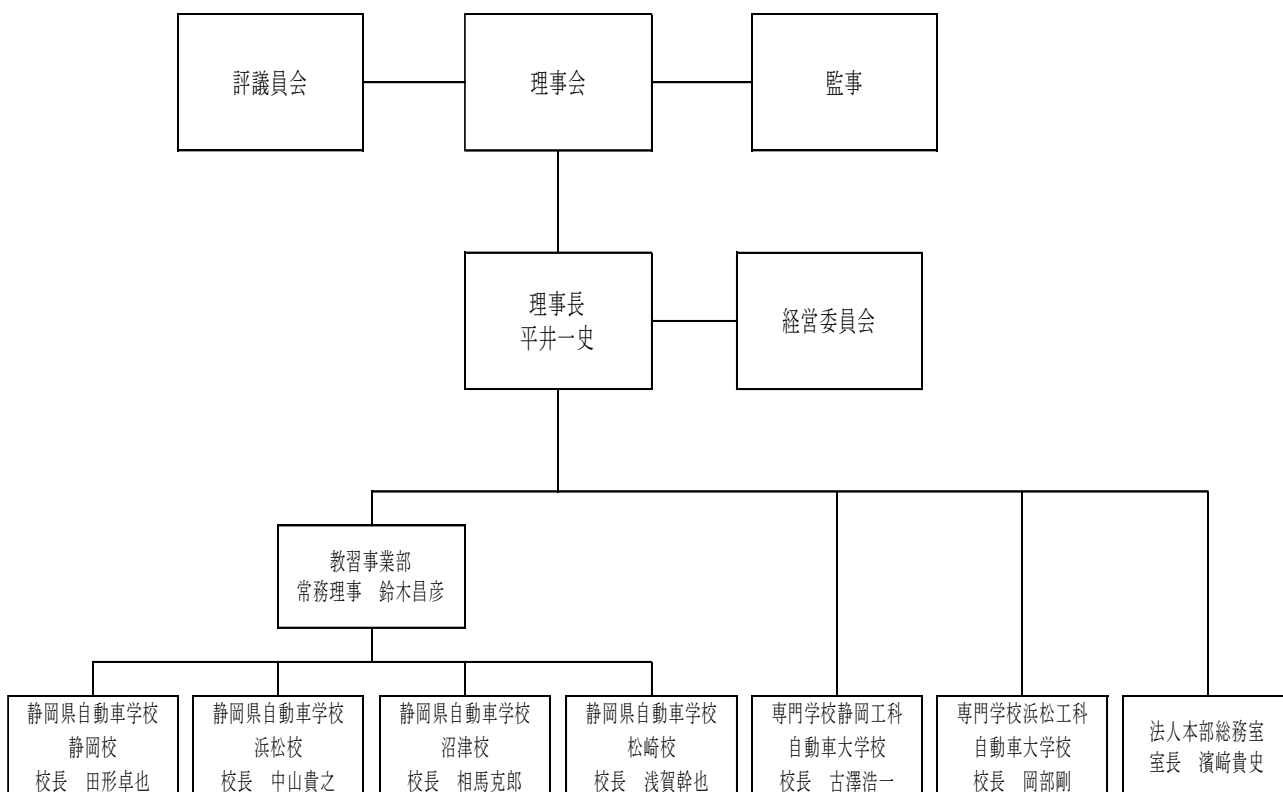
学校法人静岡自動車学園は、これまでに培ってきた優れた教育サービスの提供を通じて人に優しい交通社会の実現に貢献してまいります。

### （1）沿革

昭和15年	5月31日	静岡県自動車学校設立が静岡県知事より認可される
昭和15年	7月 1日	静岡県自動車学校開校
昭和27年	3月31日	学校法人静岡自動車学校寄附行為が静岡県知事より認可される
昭和31年	4月 1日	静岡県自動車学校に整備科を開校する（現「専門学校静岡工科自動車大学校」）
昭和35年	12月20日	静岡県自動車学校、同浜松校、同沼津校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和37年	12月13日	法人名を学校法人静岡自動車学園に改める
昭和38年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校開校
昭和45年	7月 4日	寄附行為一部改正により自動車学校は収益事業に、整備教育部に属する各科は静岡産業技術専門学校に改める
昭和47年	7月 6日	静岡県自動車学校松崎校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和52年	6月 3日	学校法人金指学園（星陵高等学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和55年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校を静岡北高等学校に名称変更
昭和58年	4月 1日	沼津情報専門学校開校
昭和59年	9月 1日	学校法人杉山学園（静岡文化専門学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和60年	4月 1日	浜松情報専門学校開校
平成 2年	7月16日	学校法人静岡自動車学園設立、及び静岡工科専門学校設置が静岡県知事より認可される （法人分割）
平成 3年	4月 1日	静岡工科専門学校開校

平成 7 年 4 月 4 日 静岡工科専門学校実習棟竣工  
 平成13年 1月18日 静岡県自動車学校校舎竣工  
 平成16年 9月28日 静岡工科専門学校が中国浙江省の嘉興職業技術学院と姉妹校提携締結  
 平成17年 4月 1日 静岡工科専門学校を専門学校静岡工科自動車大学校に名称変更（静岡県知事届出、平成17年3月25日寄附行為変更認可）  
 平成19年11月29日 静岡県自動車学校浜松校校舎竣工  
 令和 5年 3月28日 専門学校浜松工科自動車大学校の新設が県知事より認可される  
 令和 5年 4月 1日 専門学校浜松工科自動車大学校開校

(2) 組織図 (令和6年3月31日現在)



(3) 役員等の概要 (令和6年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月
理事長 (兼評議員)	平井一史	常勤	令和2年6月理事長就任 平成28年6月評議員就任
常務理事 (兼評議員)	鈴木昌彦	常勤	平成28年11月理事就任 平成20年6月評議員就任
理事 (兼評議員)	堀田恭平	非常勤	平成2年7月理事就任 平成3年2月評議員就任
理事 (兼評議員)	杉本憲一	非常勤	平成14年6月理事就任 平成12年7月評議員就任
理事 (兼評議員)	渡辺芳郎	非常勤	平成20年6月理事就任 平成20年6月評議員就任
理事 (兼評議員)	浅賀幹也	常勤	令和2年6月理事就任 平成24年6月評議員就任

理事	古澤 浩一	常勤	令和 5年 4月理事就任
監事	日下部 育男	非常勤	平成31年 3月監事就任
監事	川口 隆司	非常勤	令和 4年 6月監事就任
評議員	古屋 勝治	非常勤	令和 4年 5月評議員就任
評議員	北島 克己	非常勤	平成28年 6月評議員就任
評議員	守屋 彦太	非常勤	令和 5年10月評議員就任
評議員	岡部 剛	常勤	令和 5年 4月評議員就任
評議員	浅田 研二	常勤	令和 5年 5月評議員就任
評議員	田形 卓也	常勤	平成27年 5月評議員就任
評議員	中山 貴之	常勤	平成31年 4月評議員就任
評議員	濱崎 貴史	常勤	平成28年 6月評議員就任
評議員	相馬 克郎	常勤	令和 2年 6月評議員就任

(4) 設置する学校・学科等（令和5年5月1日現在）

専門学校静岡工科自動車大学校（静岡市葵区宮前町52番地の1）

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4年	320名
	自動車整備科	昼	2年	80名
	国際オートメカニク科	昼	3年	120名
	ボディエンジニア専攻科	昼	1年	20名
	開発エンジニア専攻科	昼	2年	30名

専門学校浜松工科自動車大学校（浜松市中央区寺島町285番地の24）

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4年	100名
	自動車整備科	昼	2年	50名
	国際オートメカニク科	昼	3年	75名

(5) 収益事業の名称及び住所

静岡県自動車学校静岡校	静岡市葵区宮前町7番地の1
静岡県自動車学校浜松校	浜松市中央区和地山2丁目38番1号
静岡県自動車学校沼津校	沼津市東椎路419番地の1
静岡県自動車学校松崎校	賀茂郡松崎町岩科南側17番地

(6) 静岡工科自動車大学校在籍者数推移（令和5年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
自動車システム工学科	4年	120	198	288	299	257
自動車整備科	2年	215	147	102	104	86
国際オートメカニク科	3年	97	134	170	167	122
ボディエンジニア専攻科	1年	—	—	—	—	16
開発エンジニア専攻科	2年	—	—	—	—	—
ハイエンジニア研究科	2年	10	4	—	—	—
ボディデザイン研究科	1年	19	—	—	—	—
合 計		461	483	560	570	481
学則定員		565	550	580	540	570

浜松工科自動車大学校在籍者数推移（令和5年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
自動車システム工学科	4年	—	—	—	—	23
自動車整備科	2年	—	—	—	—	24
国際オートメカニク科	3年	—	—	—	—	17
合 計		—	—	—	—	64
学則定員		—	—	—	—	225

(7) 職員の状況

① 職員の異動 (令和5年4月1日より令和6年3月31日まで)

(単位:人)

区 分	性別	人 員	区 分	性別	人 員
期 首	男	162 ( 9)	期中退職	男	18 ( 2)
	女	53 ( 4)		女	7 ( 0)
	計	215 ( 13)		計	25 ( 2)
期中採用	男	24 ( 11)	期 末	男	168 ( 15)
	女	5 ( 1)		女	51 ( 5)
	計	29 ( 12)		計	219 ( 20)

(注) 表中の ( ) 書は嘱託の内数を示します。

② 職員の構成 (令和6年3月31日現在)

性別	人 員 (人)	平均年齢 (歳)
男	168 ( 15)	44.7
女	51 ( 5)	37.9
計	219 ( 20)	43.1

(注) 表中の ( ) 書は嘱託の内数を示します。



## 2. 事業の概要

今日の学園を取り巻く経営環境は、18歳人口の減少が深刻化する中、経営基盤や事業構造の再構築という課題が生き残りのための必須条件となっている。

静岡工科自動車大学校では、令和4年度を初年度とする第10次中期経営計画において、職業実践専門課程の特性をさらに深化し、「社会のニーズにマッチした高いレベルの専門教育と人間性の育成」を教育理念に掲げ事業展開を行っている。

### (1) 事業ビジョン

- ①学生や保護者が「成長」を感じ、「感動」を与えるとともに、全ての関係者（業界、企業、高校、地域）から喜ばれるような、質の高い教育サービスを提供する。
- ②様々な手法により学校教育活動及びその教育成果を地域社会へ周知し、学校の認知度を高めるとともに、安定した募集活動を展開する。
- ③将来の発展に向け、グローバルな視野と柔軟な発想により様々な可能性を模索し、時代の要請に合った新しい教育サービスを提供する。
- ④経費、労務管理等においては、ムリ、ムラ、ムダを取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。

### (2) 事業目標

#### ①教育の質の向上

- ・専門知識、技術及び社会人教育においては、「何を教えた」のではなく、「何ができる（わかる）ようになる」を実践し、創意工夫による質の高い教育を展開する。
- ・産学連携を推進し、社会ニーズに合った教育内容（教育カリキュラム、教材、機器、施設設備）に改善する。
- ・研修及び授業研究などにより、教職員のスキル（知識、技術、指導力）向上に努めるとともに、産学連携による外部講師の活用を積極的に推進する。
- ・資格取得率及び就職率の他、様々な教育活動において高い教育成果を達成する。

#### ②戦略的な募集活動の推進

- ・安定した募集活動を展開するため、企業奨学制度や高専一貫教育など生徒、保護者及び高校、企業、地域と共に喜ぶ活動を推進する。
- ・効率的かつ効果的な広報ツールの活用により、学校教育活動を広く周知し、認知度の向上を図るとともに、学内イベントへの誘導を強化する。
- ・学校のブランド化を推進し、PDCAのマネジメントサイクルによる「選ばれる学校ブランド」を確立する。

#### ③新しい教育サービスの企画・立案

- ・生涯教育やリカレント教育など、現在の経営資源を活用した講座の開設について検討する。
- ・「いつでも」、「どこでも」、「誰にでも」提供することができる新たな教育サービスの企画・開発を行う。

#### ④学校経営の健全化を推進

- ・PDCAのマネジメントサイクルの確実な実行により「ムリ、ムラ、ムダ」を取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。
- ・複数校運営を見据えた人材育成（教員、幹部職員）を推進し、「選ばれる学校ブランド」を確立する。
- ・学校業務を体系的に整理し、システム化、マニュアル化を推進することにより、業務の効率化を図る。

令和5年度は、浜松工科の開校初年度で、定員充足とはならなかったものの64名の入学生を迎え、順調なスタートを切った。静岡工科では徐々に新型コロナの学校運営に与える影響も軽減され、従来どおり対面で生徒と向き合う時間が取れるようになった一方、学生の心理面での不調がこれまで以上に多く見られ、その対策としてカウンセラーを常駐させるなど対策を施してきた。静岡も定員充足には至らず特にコロナ禍での留学生不足によるところが大きかったが、今期の卒業生については二級整備士全員合格、一級整備士も1名を除き全員合格で、教育の質においては、これまでのリモート授業も含めたノウハウを生かしつつ、社会に貢献できる良質な卒業生の輩出を継続している。なお、収益事業部門からの寄附操出し額は1億4千万円で今年度目標額1億円を達成している。



(1) 理事会・評議員会等の開催状況

開催日及び場所	主 要 議 題
令和5年5月18日 法人本部総務室4階会議室 監事監査	1. 令和4年度決算監査
令和5年5月26日 中島屋グランドホテル 理事会・評議員会	1. 令和4年度事業報告について 2. 令和4年度決算報告について 3. 専門学校浜松工科自動車大学校学則の一部変更について 4. 評議員の選任について その他当面の問題について
令和5年7月7日 法人本部総務室4階会議室 理事会	1. 評議員退任に伴う退職慰労金の贈呈について その他当面の問題について
令和5年10月27日 グランディエールブクトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和5年度補正事業計画について 2. 令和5年度補正予算について 3. 専門学校静岡工科自動車大学校学則の一部変更について 4. 専門学校浜松工科自動車大学校学則の一部変更について 5. 沼津校借地購入について 6. 評議員の選任について その他当面の問題について
令和5年12月14日 三笑亭本店会議室 理事会	1. 学園の近況について 2. 学園資産（その他引当特定資産）の一部委託運用について その他当面の問題について
令和6年2月21日 グランディエールブクトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和5年度補正事業計画について 2. 令和5年度補正予算について 3. 令和6年度事業計画について 4. 令和6年度当初予算について 5. 専門学校静岡工科自動車大学校学則の一部変更について 6. 専門学校浜松工科自動車大学校学則の一部変更について 7. 静岡校本館雨漏り改修工事の執行について 8. 静岡地区受変電設備更新の執行について 9. 役員等候補者推薦委員の指名について その他当面の問題について

また、理事会・評議員会の他に、経営委員会を年12回（月1回）開催し、学園の経営方針及び運営基準等について協議している。

(2) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和5年度の設備投資等の額は、静岡工科自動車大学校では 33,271 千円であり、主として No.3 教育設備整備事業であります。浜松工科自動車大学校では 3,004 千円であり、主として No.4 職員用 PC 購入事業であります。

【静岡工科自動車大学校】

(金額単位：円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡工科1	学校施設整備事業	学生椅子 160脚	160	946,000	4/27
静岡工科2	教育教材購入事業	修復実習車両 1台	1	1,343,500	11/1
		ASV新技術車両 1台	1	1,430,000	11/13
		EVバッテリー 1セット	6	175,560	6/21
		計		2,949,060	
静岡工科3	教育設備整備事業	塗装乾燥ブース 一式	一式	24,970,000	9/21
		エンジンクレーン 3台	3	296,670	9/21
		インパクトレンチ 10台	10	198,000	8/4
		スキャンツール 3台	3	412,500	5/8
		フェンダー・シートカバー 一式	一式	279,840	6/26
		バッテリーテスタ 2台	2	159,500	5/30
		指定工場用PC、プリンタ	一式	180,950	5/8
		計		26,497,460	
静岡工科4	施設設備修繕事業	アドバンス2柱リフト修理 1台	1	400,000	10/20
静岡工科5	物品購入事業	タブレット端末 1台	1	182,000	9/15
		職員用ノートパソコン 1台	1	165,880	9/25
		計		347,880	
静岡工科6	外部診断器購入事業	外部診断器 6台	6	1,016,400	3/7
静岡工科7	職員用住宅エアコン差替え事業	職員用住宅エアコン	一式	244,200	11/28
静岡工科8	C棟4階女子トイレ改修事業	C棟4階女子トイレ改修工事	一式	693,000	3/22
静岡工科9	レーザープリンタ差替え事業	レーザープリンタ	一式	177,848	2/13
	<b>静岡工科合計</b>			<b>33,271,848</b>	

【浜松工科自動車大学校】

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
浜松工科1	校用車購入事業	ダイハツハイゼットカーゴ 1台	1	965,000	8/21
浜松工科2	壁面看板設置事業	看板製作設置	一式	363,000	8/22
浜松工科3	エンジン作業台購入事業	エンジン作業台	一式	329,340	12/14
浜松工科4	職員用PC購入事業	職員用PC 5台	5	1,144,000	11/16
浜松工科5	学生証カードプリンタ購入事業	学生証カードプリンタ 1台	1	203,005	2/15
	<b>浜松工科合計</b>			<b>3,004,345</b>	

### (3) 設備、投下資本の状況

令和6年3月31日現在における設備、投下資本は次のとおりであります。

#### 【静岡工科自動車大学校・浜松工科自動車大学校】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	教育研究用機 器備品 (円)	その他の 機器備品 (円)	車両 (円)	建設仮勘定 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)						
静岡工科	9,520.14	498,335,967	9,242.61	451,858,724	543,103	93,170,545	3,932,860	6,591,508	0	1,054,432,707
浜松工科	2,644.00	240,139,508	2,502.68	818,692,463	64,155,594	94,628,967	3,759,342	1	0	1,221,375,875

(注1) 投下資本は有形固定資産の帳簿価格で示し、図書は含んでおりません。

### (4) 経営状況分析等

#### ①経営状況の分析

本業の状況を表す教育活動収支では、令和5年度の学生数は静岡、浜松合計で545名であり、学生生徒等納付金収入は5億3千5百万円となっている。教育活動収支差額は、静岡が92百万円、浜松が▲75百万円で、静岡は在校生数の減少により減少し、浜松も当初予算比で人件費支出の増加等により計画よりも減収である。教育活動外収支は、有価証券の受け取り利息が昨年より増加し、収益事業からの寄附金は予算は達成しているものの昨年比で減少である。特別収支では、法人において資産運用を一部委託運用にすることに伴う有価証券の売却損益、静岡浜松両校の比較的多い現物寄付などにより、例年より収支が大きくなっている。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は2億3千8百万円を計上し、昨年度比で2億2千6百万円減少した。

#### ②経営上の成果と課題

18歳人口が減少するなかで、留学生を含めた学生獲得は環境として厳しいものがあるが、特定整備制度の創設など1級をはじめとする自動車整備士の社会的ニーズはいまだ非常に高く、学生の獲得と共に社会人教育への進出など幅広く育成に取り組み、学園の使命を見失わず、継続した質の高い教育を維持すること、在校生の満足こそが、これからの運営には一層重要となっていると認識している。

#### ③今後の方針・対応策

令和6年度が最終年度となる第10次中期経営計画に基づき、先の目標を達成するための今やるべき職務を遂行する。学生の獲得については、さきにも述べたとおり、質の高い教育を実践し社会に貢献できる学生を輩出することで、それが学校の評価につながり学生の獲得につながる。そのため教員の質的レベルアップ、教育者としてのレベルアップを図るとともに、浜松工科の教員増員にも力を入れていく。また、社会人教育も並行して進め、社会の課題解決（整備士不足、一級不足）とともに収益の多角化にも取り組む。

### 3. 財務の概要（過去5年間の状況）

#### （1）貸借対照表

（単位：千円）

	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末
固定資産	9,303,900	9,714,043	10,005,832	10,586,122	9,744,026
流動資産	554,259	511,039	572,778	502,836	1,565,182
資産の部合計	9,858,159	10,225,082	10,578,610	11,088,959	11,309,209
固定負債	0	540	540	0	0
流動負債	184,624	249,737	232,199	279,137	261,559
負債の部合計	184,624	250,277	232,739	279,137	261,559
基本金	2,739,239	2,742,677	3,038,872	4,103,893	4,137,161
繰越収支差額	6,934,295	7,232,127	7,306,998	6,705,928	6,910,487
純資産の部合計	9,673,534	9,974,805	10,345,871	10,809,821	11,047,649
負債の部、純資産の部合計	9,858,159	10,225,082	10,578,610	11,088,959	11,309,209

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

## (2) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
学生生徒等納付金収入	451,310	474,395	551,785	554,195	535,295
手数料収入	5,638	6,626	5,572	5,907	7,367
寄附金収入	0	0	100	0	0
補助金収入	15,763	42,042	47,124	58,370	52,956
資産売却収入	100	200,768	0	100,700	0
付随事業・収益事業収入	162,999	189,420	185,222	183,754	154,154
受取利息・配当金収入	47,265	47,248	56,180	59,564	73,242
雑収入	27,052	60,200	32,587	133,399	43,327
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	114,178	136,225	124,084	117,970	138,257
その他の収入	24,072	31,348	339,147	1,981,902	1,023,306
資金収入調整勘定	△137,330	△145,396	△164,215	△279,519	△150,571
前年度繰越支払資金	478,249	546,620	479,055	543,447	343,867
収入の部合計	1,189,299	1,589,498	1,656,644	3,459,689	2,352,735

支出の部	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
人件費支出	274,875	317,509	277,651	319,523	315,065
教育研究経費支出	72,396	94,932	117,500	130,391	128,493
管理経費支出	45,983	47,351	57,149	66,938	59,508
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	990	266,437	997,334	1,056
設備関係支出	131,126	18,543	27,278	30,334	34,129
資産運用支出	214,636	649,753	353,278	1,616,776	99,729
その他の支出	29,750	8,249	26,878	34,182	79,330
資金支出調整勘定	△8,090	△26,887	△12,978	△79,650	△27,339
翌年度繰越支払資金	546,620	479,055	543,447	343,867	1,531,228
支出の部合計	1,189,299	1,589,498	1,656,644	3,459,697	2,352,735

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

## (3) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		科 目	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	451,310	474,395	551,785	554,195	535,295
		手数料	5,638	6,626	5,572	5,907	7,367
		寄付金	0	0	100	0	585
		経常費等補助金	15,430	39,522	44,002	54,620	46,335
		付随事業収入	12,999	9,420	15,222	13,754	14,154
		雑収入	27,052	60,200	32,587	133,939	43,327
		教育活動収入計	512,430	590,163	649,269	762,417	647,065
		科 目					
	事業活動支出の部	人件費	274,875	318,049	277,651	319,523	315,065
		教育研究経費	124,736	146,922	170,243	184,822	253,567
		管理経費	50,602	51,788	61,550	71,503	64,801
		徴収不能額	0	0	0	124	471
		教育活動支出計	450,214	516,760	509,445	575,973	633,907
		教育活動収支差額	62,216	73,402	139,824	186,444	13,157
教育活動外収支	収入	科 目					
		受取利息・配当金	47,265	47,248	56,180	59,564	73,242
		その他の教育活動外収入	150,000	180,000	170,000	170,000	140,000
		教育活動外収入計	197,265	227,248	226,180	229,564	213,242
	支出	科 目					
		借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	197,265	227,248	226,180	229,564	213,242	
	経常収支差額	259,481	300,651	366,005	416,008	226,400	
特別収支	収入	科 目					
		資産売却差額	99	788	0	6,086	9,825
		その他の特別収入	10,625	5,911	5,061	41,855	14,812
	特別収入計	10,725	6,699	5,061	47,942	24,638	
	支出	科 目					
		資産処分差額	9,199	6,080	0	0	13,211
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	9,199	6,080	0	0	13,211		
特別収支差額	1,526	619	5,061	47,942	11,427		
基本金組入前当年度収支差額			204,455	204,455	261,007	463,950	237,827
基本金組入額合計			△44,198	△44,198	△3,433	△1,065,020	△40,177
当年度収支差額			160,256	160,256	257,574	△601,070	197,649
前年度繰越収支差額			6,516,463	6,516,463	6,676,720	7,306,998	6,705,928
基本金取崩額			0	0	0	0	6,909
翌年度繰越収支差額			6,676,720	6,676,720	6,934,295	6,705,928	6,910,487

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。



## 収益事業の概要

### 1. 事業の概要

(1) 令和5年度入校生・卒業生数等

【入校生数】

(単位：人)

車種		学校別				計
		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	
普通	M T	694	500	285	73	1,552
	A T	1,799	1,129	908	476	4,312
	二種	288	148	92	0	528
大型	一種	200	0	246	0	446
	二種	15	0	68	0	83
中型	一種	104	33	61	0	198
	二種	0	0	0	0	0
準中型		63	39	44	0	146
大型特殊		20	11	45	0	76
けん引		78	0	60	0	138
自動二輪 ( )内は AT限定の内数	大型	204 ( 0 )	94 ( 0 )	116 ( 0 )	12 ( 0 )	426 ( 0 )
	普通	374 ( 8 )	170 ( 2 )	174 ( 5 )	26 ( 1 )	744 ( 16 )
	普通限定	44 ( 28 )	23 ( 9 )	36 ( 23 )	5 ( 2 )	108 ( 62 )
審査	普通	63	40	43	2	148
	中型	39	14	21	0	74
	準中型	15	4	11	0	30
	二輪限定	11	9	9	6	35
	その他	0	0	11	0	11
( )内は 合宿入校の内数	計	4,011 ( 532 )	2,214 ( 343 )	2,230 ( 387 )	600 ( 462 )	9,055 ( 1,724 )
	前年度計	4,093 ( 207 )	2,284 ( 148 )	2,332 ( 244 )	507 ( 341 )	9,216 ( 940 )
	前年度比	△82 ( +325 )	△70 ( +195 )	△102 ( +143 )	+93 ( +121 )	△161 ( +784 )

【卒業生数】

(単位：人)

車種		学校別				計
		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	
普通	M T	665	471	256	65	1,457
	A T	1,815	1,083	882	472	4,252
	二種	288	148	91	0	527
大型	一種	190	0	246	0	436
	二種	9	0	61	0	70
中型	一種	112	34	65	0	211
	二種	0	0	0	0	0
準中型		56	37	43	0	136
大型特殊		19	12	42	0	73
けん引		73	0	69	0	142
自動二輪 ( )内は AT限定の内数	大型	194 ( 0 )	99 ( 0 )	126 ( 0 )	12 ( 0 )	431 ( 0 )
	普通	345 ( 7 )	189 ( 4 )	177 ( 6 )	24 ( 1 )	753 ( 18 )
	普通限定	45 ( 29 )	24 ( 9 )	34 ( 26 )	7 ( 2 )	176 ( 66 )
審査	普通	57	39	42	3	141
	中型	36	15	22	0	73
	準中型	16	4	14	0	34
	二輪限定	11	12	9	5	37
	その他	0	0	10	0	10
( )内は 合宿入校の内数	計	3,931 ( 531 )	2,167 ( 337 )	2,189 ( 377 )	588 ( 453 )	8,875 ( 1,698 )
	前年度計	3,977 ( 205 )	2,227 ( 126 )	2,239 ( 242 )	486 ( 314 )	8,929 ( 887 )
	前年度比	△46 ( +326 )	△60 ( +211 )	△50 ( +135 )	+102 ( +139 )	△54 ( +811 )



## 【高齢者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和5年度受講者数	6,135	4,181	2,244	1,089	13,649
前年度受講者数	6,348	3,643	2,618	1,242	13,851
前年度比増減	△213	+538	△374	△153	△202

## 【認知機能検査受検者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和5年度受検者数	4,442	3,308	1,703	928	10,381
前年度受検者数	4,338	2,293	1,836	942	9,409
前年度比増減	+104	+1,015	△133	△14	+972

## 【取消処分者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	計
令和5年度受講者数	124	197	174	495
前年度受講者数	149	255	182	586
前年度比増減	△25	△58	△8	△91

## 【初心運転者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和5年度受講者数	37	24	41	0	102
前年度受講者数	47	25	43	0	115
前年度比増減	△10	△1	△2	±0	△13

## 【取得時講習受講者数】

(単位：人)

学校別 車種	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
大型車講習	1	0	1	0	2
中型車講習	4	0	4	0	8
準中型車講習	9	11	9	0	29
普通車講習	3	3	11	0	17
大型二輪車講習	3	0	0	0	3
普通二輪車講習	14	1	16	0	31
大型旅客車講習	3	0	0	0	3
中型旅客車講習	0	0	0	0	0
普通旅客車講習	3	0	5	0	8
応急救護処置講習(一種)	12	11	19	0	42
応急救護処置講習(二種)	6	0	5	0	11
計	58	26	70	0	154
前年度受講者数	60	26	91	0	177
前年度比増減	△2	±0	△21	±0	△23

## (2) 入校生数等の推移 (4校合計)

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入校生数	9,410	9,355	9,091	9,216	9,055
卒業生数	9,177	9,159	8,957	8,929	8,875
高齢者講習	11,438	13,137	13,805	13,851	13,649
認知機能検査	7,134	6,482	7,171	9,409	10,381
取消処分者講習	626	652	566	586	495
初心運転者講習	146	123	128	115	102
取得時講習	173	187	188	177	154

## (3) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和5年度の設備投資等の額は、収益事業部門では223,307千円であり、主として沼津校の土地購入事業であります。

## 【収益事業】

(金額単位:円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡校1	校舎整備事業	1階全熱交換機・換気扇更新工事 一式	一式	4,719,000	5/7
		交通教育センターB教室空調機更新 一式	一式	1,980,000	5/3
		自動ドア修繕工事 一式	一式	1,427,250	5/6
		本館東階段壁紙張替え工事 一式	一式	748,000	5/23
		計		8,874,250	
静岡校2	教習コース整備事業	コース舗装工事 一式	一式	2,398,219	5/5
		大型方向変換コース内隘路ライン引き 一式	一式	180,344	5/5
		管内カメラ調査・内面補修 一式	一式	2,866,437	5/5
		計		5,445,000	
静岡校3	二輪シミュレータ差替え	二輪シミュレータ 1台	1	5,808,000	9/27
静岡校4	二輪教習車差替え	大型二輪教習車(MT) 2台	2	2,090,000	11/6
静岡校5	視力検査器整備	動体視力検査器 1台	1	787,600	9/27
		夜間視力検査器 1台	1	787,600	9/27
		計		1,575,200	
静岡校6	営業車差替え	軽トラック 1台	1	740,000	11/17
静岡校7	業務用PC差替え	デスクトップPC 一式	一式	270,600	4/12
		ノート型PC 4台	4	785,400	4/12
		計		1,056,000	
静岡校8	ドローン機体追加購入	ドローン機体 3機	3	1,434,180	10/28
静岡校合計				27,022,630	

浜松校 1	校舎整備事業	コース棟空調機更新 一式 本館 3階 LED化工事 一式 本館 1階 排煙扉修繕工事 一式 計	一式 一式 一式	11,275,000 1,518,000 299,200 13,092,200	4/27 5/27 6/8
浜松校 2	教習用設備整備事業	外周西側フェンス改修工事 一式	一式	1,375,000	5/13
浜松校 4	営業車、連絡車差替え	営業車（送迎車）差替え 1台 中古連絡車（軽四貨物）差替え 1台 計	1 1	2,466,970 596,240 3,063,210	7/20 1/19
浜松校 5	教習用チャイム更新事業	教習用チャイム更新	一式	844,800	2/22
<b>浜松校合計</b>				<b>18,375,210</b>	
沼津校 1	校舎整備事業	校舎（トイレ・202教室分割・壁床クロス等） リフォーム一式 駐輪場差替え工事 一式 計	一式 一式	55,330,000 3,795,000 59,125,000	8/31 8/21
沼津校 2	二輪教習車差替え	大型二輪教習車（MT） 2台	2	2,090,000	5/10
沼津校 3	可動式障害物修繕	可動式障害物修繕	一式	1,067,000	4/21
沼津校 4	大型教習車購入	大型教習車 2台	2	28,606,340	5/25
<b>沼津校合計</b>				<b>90,888,340</b>	
松崎校 1	シミュレータ差替え	シミュレータ 1台	1	5,885,000	5/10
松崎校 2	ドローン教習所開校準備	ドローン機体 ドローン機体シミュレータ 開校各種準備費用 計	一式 一式 一式	1,008,920 594,000 550,000 2,152,920	10/30 12/15 12/15
<b>松崎校合計</b>				<b>8,037,920</b>	
教習事業部 1	業務用PC整備	デスクトップPC 一式 ノート型PC 一式 計	一式 一式	275,000 242,000 517,000	4/3 4/3
教習事業部 2	AI教習車導入事業	AI教習車（セフモ） 静岡校 AI教習車（セフモ） 浜松校 AI教習車（セフモ） 沼津校 計	1 1 1	2,620,481 2,619,119 2,623,205 7,862,805	8/10 12/14 11/10
<b>教習事業部合計</b>				<b>8,379,805</b>	
総務室 1	借地購入事業	土地代金 仲介手数料・公租公課等 計	一式 一式	67,200,000 3,403,647 70,603,647	11/30 11/30
<b>総務室合計</b>				<b>70,603,647</b>	
<b>収益合計</b>				<b>223,307,552</b>	

(4) 事業所別設備の状況

令和6年3月31日現在における各事業所の設備、投下資本は次のとおりであります。

【収益事業】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	機械装置 (円)	什器備品 (円)	車両 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)					
静岡校	18,362.50 (373.67)	174,546,872	2,802.99	195,777,173	24,580,520	6,737,034	9,268,199	4,453,932	415,363,730
浜松校	13,728.69	75,388,009	1901.28	178,774,999	23,174,955	6	1,836,849	2,256,055	281,430,873
沼津校	13,264.06 (7,767.00)	810,260,269	2557.93	131,801,475	21,116,636	1,180,233	1,578,511	15,517,129	981,454,253
松崎校	2,136.76 (9,338.73)	35,443,050	933.52	28,852,849	4,511,006	3,388,336	1,045,701	40	73,240,982
総務室 教習事業部	0	0	916.84	32,773,752	154,243	0	548,370	4,896,565	38,372,930
計	47,492.01 (17,479.40)	1,095,638,200	9112.56	567,980,248	73,537,360	11,305,609	14,277,630	27,123,721	1,789,862,768

(注) 1 投下資本は有形固定資産の帳簿価格であります。

2 土地の面積欄中 ( ) 書は賃借中のものであり、内数ではありません。

## 2. 財務の概要（過去5年間の状況）

### （1）貸借対照表

（単位：千円）

	元年度末	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末
流動資産	2,954,011	3,096,488	3,208,605	3,396,920	3,415,476
固定資産	1,804,201	1,748,087	1,707,294	1,721,361	1,818,306
繰延資産	0	0	0	0	0
資産の部合計	4,758,213	4,844,576	4,915,900	5,118,281	5,233,782
流動負債	405,291	370,442	342,800	427,971	428,773
固定負債	0	0	0	0	0
負債の部合計	405,291	370,442	342,800	427,971	428,773
純資産の部合計	4,352,921	4,474,134	4,573,100	4,690,310	4,805,009
負債・純資産合計	4,758,213	4,844,576	4,915,900	5,118,281	5,233,782

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

### （2）損益計算書

（単位：千円）

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
営業収益	2,260,698	2,190,519	2,176,019	2,224,486	2,281,494
営業費用	1,976,178	1,835,968	1,880,368	1,891,603	1,989,996
営業利益	284,520	354,550	295,650	332,882	291,497
営業外損益	14,028	18,273	20,114	20,414	19,561
経常利益	298,548	372,823	315,764	353,296	311,059
特別損益	3,230	△17,207	573	△13,491	△10,902
寄附繰出前当年度利益	301,779	355,615	316,338	339,804	300,157
寄附繰出額	150,000	180,000	170,000	170,000	140,000
法人税等充当額	48,297	54,402	47,372	52,595	45,457
当年度利益	103,481	121,212	98,966	117,209	114,699

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。